

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

- 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
- 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
- 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
- 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

001	事業名 男女共同参画セミナー等の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 96,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 深刻化する高齢者の貧困問題をジェンダーの視点から理解するとともに、老後不安の解決策を模索する連続講座「不安のない老後を過ごしたい～いくつになっても安心して生きられる社会を～」を実施した。①10/5 第1回「これからの老後に備えるために～下流老人、貧困老人の実態と対処法」、②10/19 第2回「誰も取り残さない地域へ～地域のSOSに応える実践から～」			
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】	
参加率		満足度	
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 90 %	
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
参加人数:139人(女性107人、男性32人) 募集人数:80人(40人×2回)		「いろいろな制度についてもお話されたので、とても勉強になりました」「生きづらい世の中になっているのは何故なのか、社会構造を変える努力をしていきたい」などの感想があった。	
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)		第1回では、高齢者の貧困、とりわけ高齢単身女性の貧困は自己責任ではなく、社会的な問題であり、根底にジェンダー構造があることを伝えることができた。第2回では、高齢者の貧困を支援する公的な制度や地域の居場所の情報を伝えるとともに、社会・制度を変えるために声を上げていくこと、政治に関心を持つことの重要性を訴えることができた。	
<H30実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。	

002	事業名 男女共同参画情報誌の発行	課所 事業費	男女共同参画支援センター 496,112円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。		年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第45号(7/1発行)のテーマは「データから見る まちのすがたー『越谷市ジェンダー統計パネル』で、地域の現状把握と課題について考察した。第46号(2/1発行)のテーマは「人生100年時代～高齢女性が安心して生きられる社会を～」で、高齢者の中でも貧困や孤立などさまざまな困難に遭遇しがちな高齢女性に焦点をあてた。			
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】	
発行部数			
<目標> 26,000 部 <実績> 26,000 部		<目標> <実績>	
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)	
第45号:13,000部、第46号:13,000部		市の施設などで配布するほか、自治会の回覧やホームページへの掲載など、より多くの市民に届けられるような工夫を行った。第46号には「高齢女性の困難は見過ごされがちだが、あらためてその問題に気づかされた。地域の居場所などの情報が役に立つ」という感想があった。	
事業の評価			
A (順調に取り組んでいる)		第45号の製作に先立ち、平成30年度(2018年度)に「ほっと越谷」が作成した「越谷市ジェンダー統計パネル」を活用した「ジェンダー統計学習会」を実施した。データから高齢化や越谷市民の働き方、男女共同参画に関わる意識変化など、越谷市の男女共同参画の進捗状況や課題があきらかになり、市民と学んだ成果を踏まえることで、よりわかりやすく伝えることができた。	
<H30実績> A			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

003	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。		メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 身近なメディアであるテレビから発信される情報にはジェンダーバイアス(思い込みや決めつけ、偏見)をはじめ、さまざまな問題が含まれることがある。テレビ問題に詳しい講師の話とワークによって、情報を主体的に読み解く力を身につけることの重要性について理解を深める講座を実施した。9/7「これってどうなの? なんだかへん! - テレビが生んだハラスメントを考える」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:46人(女性29人、男性17人) 募集人数:30人		「克服していくのに時間がかかる、深刻な社会問題が正面から取り上げられていた。参加者もたくさん発言でき、双方向の交流ができた」「何気なく見ているテレビ、いろいろな側面があり、考えさせられた」「メディアに対する視点が変わった気がする」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		テレビにおける女性の扱われ方、同じ行為であっても男女で反応や対応が異なるダブルスタンダード、あるべき家族像の押し付けなど、テレビが生んだハラスメントについて、ジェンダー視点で問題を提起できた。テレビをはじめとするメディア問題の根底に「誰が番組を作っているのか」「誰が権力を行使しているのか」というジェンダー構造があることを伝えることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

004	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 24,738円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①4/2~4/28越谷市ジェンダー統計、②5/7~5/31男女共同参画ってなんだろう、③6/21~7/5男女共同参画週間(市庁舎ロビー)、④7/12~7/18私たちの声をもっと社会へ、⑤8/17~8/30痴漢抑止バグデザインコンテスト、⑥9/1~9/28育児と介護のダブルケア、⑦10/3~10/31不安のない老後を過ごしたい、⑧2/28~3/27国際女性デー(市庁舎ロビー&「ほっと越谷」)				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 7 回 <実績> 8 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		男女共同参画の啓発や、「ほっと越谷」の実施事業に関連するさまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や市庁舎ロビーに展示することにより、多くの市民に対し、男女共同参画に関する理解を深めるための情報提供ができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		「ほっと越谷」が実施する事業やブックフェアの開催と連動したパネル展示を企画し開催した。昨年度発行の情報誌(第44号)で取り組みを紹介した痴漢犯罪抑止の活動団体をはじめ、その他関係機関からパネルを借用し、幅広い情報提供を行うことができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

005	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①4/25「デートDVを知ろう」、②7/19「仲間を見つけにきませんか?～10年先、20年先どうなっていたい?」、③9/13「映画『兼子』上映」、④9/20「シネマサロン『おひとりさまを生きる』」、⑤10/25「災害時における高齢者の人権」、⑥11/24「防災イベントためしてみよう! 避難所体験」、⑦11/27「映画『ツヒノスミカ』上映」、⑧12/20「映画『乙女ハウス』上映」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 5 回 <実績> 8 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:563人(女性287人、男性274人、その他2人)		⑥11/24「防災イベントためしてみよう! 避難所体験」では、「初めてのことで、対応はうまくできなかったけれど、やってみてわかることがあるので経験は大事だと思いました」「いろいろな避難をされる方の状況があるということを理解できた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		昨年度に引き続き、実施事業数(回数)が8回と目標を上回ることができた。また、地域のさまざまな関係機関・NPO・団体・学校に出向き、男女共同参画の意識啓発を行うことができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

006	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 408,972円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 登録団体が構成する実行委員会と共催で、七夕フェスタを開催した。6/29は小雨模様の中、「さくら広場」と「ほっと越谷」の2会場においてオープニングイベントを開催した。(参加人数:約2700人)7/1～7/8までは、「ほっと越谷」で七夕フェスタを開催し、期間中に登録団体企画による展示や講座を実施した。(参加人数:約800人)				
【活動実績(活動指標)】 延べ参加団体数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 115 団体 <実績> 140 団体		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
オープニングイベント:53団体、七夕フェスタ:講座26団体、展示29団体、交流会32団体		「オープニングイベント」は、「さくら広場」と「ほっと越谷」の2会場をつないで実施した。小雨の影響により、ステージ発表の一部演目が中止になったものの、多くの市民団体との協働により、スタンプラリーや模擬店などでイベントを盛り上げ、「ほっと越谷」を広く周知することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		実行委員会方式で、全登録団体が事業運営に携わることにより、登録団体の「ほっと越谷」の実施事業に対する理解が深まった。実行委員会議や交流会を通じて、活発な意見交換を行いながら準備・運営することで、協働による連帯感を高めることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分): 目標値の60%未満

007	事業名	市民との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター	事業費	60,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。			公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 公募による市民企画委員(6人)との協働で、「本がつながる 楽しい出会い」をテーマに図書の紹介と意見交換を行うブックサロンを①9/1、②1/19の2回開催した。7/18~8/14には、「ブックサロン」と同テーマで「ほっと越谷」の所蔵図書を展示する「ブックフェア」を開催した。						
【活動実績(活動指標)】 開催事業数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 2 回 <実績> 3 回			<目標> <実績>			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
ブックサロン参加人数:33人(女性26人、男性7人) ブックサロン募集人数:30人(15人×2回)			ブックサロン参加者からは「紹介した本について質問があり、より話が広がったので楽しかったです。フリートークの時間が多くあったのでよかったです」「年齢層もいろいろで、自分では選ばないような本を紹介していたでいて、参考になりました」などの感想があった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			ブックサロンやブックフェアを通じて、企画委員が「ほっと越谷」が所蔵する男女共同参画に関する図書を紹介した。特にブックフェアでは、手書きの紹介カードとともに企画委員の推薦図書を展示するコーナーの設置や、書評付きのブックリストの配布などの取り組みが、来所者が実際に本を手取るきっかけになり、多くの方が男女共同参画についての理解を深めることができた。			
<H30実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。			

008	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター	事業費	143,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 市内・市外で活動する団体から男女共同参画に関連する企画を公募し、登録団体・市民団体の5団体による4講座を実施した。①11/2、「11/16「人間関係を豊かにするコミュニケーション講座」、②11/30「ヒューマンライブラリー〜“生きた本”との出会い〜」、③12/5「自分らしく生きるための高齢者セミナー」、④1/18「聞いてみよう 障がい者の人生におけるイベント」						
【活動実績(活動指標)】 協働で開催する講座数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 6 回 <実績> 4 回			<目標> 80 % <実績> 92 %			
達成度 3 (達成まで今一步)			達成度 5 (十分に達成できた)			
書類選考とプレゼンテーションを経て決定した4講座(登録団体2講座、市民団体2講座)を実施した。うち、登録団体の1講座は、2団体が協力しながら実施するコラボ企画(講座)だった。			すべての講座で満足度が80%を超えた。			
事業の評価						
C (より積極的な取り組みが必要)			担当者企画会議や講座の実施を通じて、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができた。登録団体2団体がコラボした企画・運営といった新たな試みや、「ほっと越谷」の自主事業にはない女性を対象としたコミュニケーション講座の開催など、事業の幅が広がった。			
<H30実績> C						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
新たな団体との協働に向けた市民団体への広報強化に努めたことにより、市民団体からは募集事業数を超えた応募があったものの、登録団体からの応募は2事業(企画)にとどまった。			登録団体との会議等において、事業内容や「ほっと越谷」と協働するメリット・支援について、わかりやすく伝える。			

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

009	事業名	所蔵図書の貸出し	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		所蔵図書の貸出しを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。情報誌(年2回発行)やイベント情報誌(年4回発行)に実施事業や特集記事のテーマに即した所蔵図書の書評を掲載する等、所蔵図書の紹介と利用促進を行った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
利用者数				
<目標> 300 人 <実績> 509 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
利用者:509人(女性466人、男性43人) 貸出冊数:688冊		毎月テーマを変えてブックフェアを企画・展示、「ほっと越谷」の事業に関連する所蔵図書を紹介した。ブックフェアの図書リストは「ほっと越谷」のホームページから閲覧・ダウンロードすることができ、講座参加者が学びを深めるための情報提供のツールのひとつになっている。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		平成30年度より、週2日だった図書の貸出し日を開所日にいつでも貸出しするように変更したことから、利便性が向上し、前年度に続き利用者数が目標を大きく上回った。図書・資料の提供を通じて、男女共同参画に関する理解を深めることができた。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

010	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のための情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物を作成することがないよう意識啓発を図る。		ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物が作成されているかを定期的にチェックする。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市で発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3ヶ月に1回庁内LANで報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
チェックした刊行物の数		注意を喚起した刊行物の数		
<目標> 60 種類 <実績> 60 種類		<目標> 0 種類 <実績> 0 種類		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		リーフレットやチラシの作成の際に幾つかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高まっているものと思われる。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分): 目標値の60%未満

011	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 -
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要ときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。		広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等も用いて苦情処理委員の周知を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、広報こしがや、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、成人式において新成人に制度を紹介するチラシを配布した。				
【活動実績(活動指標)】 広報紙やホームページ等でPRする回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 3 回 <実績> 3 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
①広報こしがや(1月号)、②「みてみてほっと越谷」46号(2月)、③成人式でのPRチラシの配布		さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成30年度に引き続き、令和元年度は苦情の申し出がなかった。そのため、男女共同参画の推進に関する市の施策等に対する苦情について庁内の調査を行ったところ、1件あった。今後も積極的に制度の周知を行っていく必要がある。		今後とも積極的に周知を行う。		

012	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	課所 事業費	人事課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。		男女共同参画に関する研修を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員及び新任主幹級職員を対象に、男女共同参画に係る研修を実施した。(新採用職員研修は4/2に実施、監督職員(主幹級)研修は5/8に実施)				
【活動実績(活動指標)】 男女共同参画に関する研修の受講者数		【取り組みの成果(成果指標)】 理解度		
<目標> 1 人 <実績> 188 人		<目標> 100 % <実績> 81.0 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
①新採用職員研修(4/1付採用): 男性64人、女性65人②監督職員(主幹級)研修: 男性33人、女性26人		人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは「理解できた」「概ね理解できた」や「今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (2)男女共同参画に関する調査・研究の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

013	事業名	男女共同参画に関する情報収集と調査研究	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画に関する企画・立案や事業実施に参考となる情報の収集と調査研究を行い、効果的な施策の推進を図る。		情報誌、インターネット、セミナー等を通じて、男女共同参画に関する情報の収集と調査研究を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画に関するセミナー等に参加して情報収集したほか、市政世論調査による市民の意識調査などを行い、それらを基に年次報告書やホームページなどで男女共同参画に関する統計や解説資料を公表した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
セミナー等への参加回数				
<目標> ー 回 <実績> 9 回 達成度 4 (概ね達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
女性の活躍促進、DV対策、LGBTなどに関するセミナー等に参加した。		収集したデータや情報などを、「男女共同参画に関する年次報告書」やホームページ、庁内LANに掲載するなど、庁内外に分かりやすい形にしてフィードバックすることができた。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)				
<H30実績> B				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
男女共同参画を効果的に推進するためには、最新の動向や市民の意識を常に把握し、施策に反映させる必要がある。		今後とも情報収集、調査研究を積極的に行う。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (3)国際的な動向を考慮した意識づくり

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

014	事業名	国際的な動向についての情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女間の格差を示す国際的指数である「ジェンダー・ギャップ指数」と、「女性、少女たちの権利」の2つをテーマにして世界と日本の現状について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携して、市役所ロビー及び「ほっと越谷」でパネル展示を開催した。(市役所ロビー:2/28~3/13、ほっと越谷:2/28~3/27)				
【活動実績(活動指標)】 情報提供の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 2 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
市役所、「ほっと越谷」にてそれぞれ1回開催した。		市民に対して、世界の国々と日本の男女共同参画について考えてもらう機会を提供することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		今後も国際女性デー(3月8日)の前後を中心に、国際的な男女共同参画の動向に関する情報提供を実施する。		
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

015	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学校3年生、中学校1年生の保護者全員に、家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配付した。(配付部数:9,705部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 9,705 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
4歳児クラス 3,465部、小学校3年生 3,230部、中学校1年生 3,010部		子どもの数は毎年変動するため、配付数の目標値は設定していないが、対象となるすべての保護者に配付することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

016	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。		市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画意識の啓発資料を作成し、市内の小中学校教職員全員に配付した。(配付部数:1,473部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 1,473 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
平成30年度に引き続き、より現場の教職員に沿ったものとなるよう、教育における男女共同参画やDVがおよぼす子どもへの影響について、市政世論調査等のデータを用いることで、分かりやすい紙面づくりを心がけた。		教職員全員に配付したことにより、教職員への男女共同参画に関する意識啓発をより一層推進することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

017	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	課所 事業費	指導課 25,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 7月31日(水) 独立行政法人国立女性教育会館研究国際室 研究員 飯島 絵理 氏を招聘し、「学校における男女共同参画の現状と課題」について研修会を実施した。(参加者:45人)				
【活動実績(活動指標)】 研修会参加人数		【取り組みの成果(成果指標)】 参加者の理解度		
<目標> 45 人 <実績> 45 人		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:女性26人、男性19人				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
研修参加者の入れ替わりや教職員の低年齢化により、男女共同参画をはじめ人権教育にかかわる問題意識が低い傾向にある。		今後は、演習やグループワークを取り入れ、さらなる男女共同参画をはじめとした人権教育に関する意識啓発・理解促進を図る。		

018	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 29,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。		保護者に向けて、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てなど、男女共同参画の視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 児童館コスモスと共催で、未就学児の保護者と妊娠中の方を対象に、スウェーデンの子育てやポジティブ・ディシプリンの考え方をヒントに、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てについて学ぶ講座を実施した。12/21「お父さんもお母さんも がんばりすぎない子育て～子どもを知ることで楽になる～」				
【活動実績(活動指標)】 参加率		【取り組みの成果(成果指標)】 満足度		
<目標> 80 % <実績> 95 %		<目標> 80 % <実績> 78 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:19人(女性16人、男性3人) 募集人数:20人				
「他のママの話を開けたり、講義の内容も参考になりました」「興味のある内容で楽しく聞くことができました。いろいろ考えるきっかけになりました」などの感想があった。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

019	事業名	キャリア教育の推進	課所 事業費	指導課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとらわれないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。		キャリア教育を実践するため、中学校では職場体験、小学校では地域の方との交流などを行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 小中学校の総合的な学習の時間・特別活動の授業等における「進路教育・キャリア教育」の推進。中学校では職場体験活動「社会体験チャレンジ」等を実施。				
【活動実績(活動指標)】 実践校数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 45 校 <実績> 45 校		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
地域、家庭との連携を図りながら、授業や行事を通じた「キャリア教育」の推進を図ったために、児童生徒が職業観や未来への展望を持つことにつながった。				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
小中一貫教育を意識した、児童生徒の発達段階に即したキャリア教育を推進する必要がある。		小中一貫教育を通じて、良い実践例を広め、地域ごとの特性を活かした進路・キャリア教育を年間指導計画に位置づけ、確認・見直しを推進する。		

020	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 33,075円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
できるだけ早いうちから男女共同参画の考え方を意識してもらえよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の小中学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子ども向けリーフレットを配付した。(配付部数:3,480部)				
【活動実績(活動指標)】 条例リーフレットの配付部数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一部 <実績> 3,480 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
小学校6年生及びその学級担任全員に配付した。		配布時に活用例を記載するとともに、市のホームページから随時ダウンロードを可能にして活用の幅を広げることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H30実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		